

第2回定例会の主な日程

令和6年第2回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

Table with dates and session types: 6月4日(火) 本会 議 (開会、知事提出議案説明) 6月7日(金) 本会 議 8日(土) 本会 議 10日(月) (一般質問・質疑) 6月12日(水) 常任委員会 6月14日(金) 本会 議 6月17日(月) 予算特別委員会 (予算関係議案常任委員長報告等) 6月18日(火) 交通政策・物流問題調査特別委員会 6月19日(水) 県有施設・県出資団体等調査特別委員会 6月20日(木) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

質問者

- 6月7日(金) 高橋 勝則 (いばらき自民党) 村本 修司 (公明党) 木村 喜一 (いばらき自民党) 6月8日(土) 長谷川 重幸 (いばらき自民党) 村田 康成 (いばらき自民党) 高橋 直子 (いばらき自民党) 6月10日(月) 松田 千春 (いばらき自民党) 高安 博明 (国民民主党) 飯田 智男 (いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶ https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=168



村本 修司 議員 公明党 出 公立市選

子どもの意見表明等支援の推進

議員 子どもアドボカシー※1について、一日でも早く茨城県に根付くように、子ども意見表明等支援の推進に、今後どのように取り組んでいくのか。 福祉部長 意見表明等支援員が子どもの意見を聞き取り、代弁し、関係機関と調整を行う「意見表明等支援事業」の実施に向け準備を進めている。本年10月を目途に、一時保護中の子どもを対象に支援員の派遣事業を開始する。

若年・高齢世代の融合した住みやすい県営住宅

議員 若年世代・高齢世代、それぞれの課題を踏まえ、両世代が融合した住みやすい県営住宅を構築すべきと考えるが、所見は。 土木部長 入居者ニーズに合わせた改修やバリアフリー化、子育て世帯の当選率の優遇措置、シルバーハウジング事業※2など、若年世帯・高齢世帯双方が住みやすい県営住宅構築に向け、ハード・ソフト両面から引き続き支援を行う。(ほかに、障害者差別解消法改正に伴う合理的配慮提供の義務化への対応なども質問)



意見表明等支援員は、子どもの意見をよく聞き取り、関係者へ伝えるマイクとなる存在



長谷川 重幸 議員 いばらき自民党 鉦田市・茨城町・大洗町選出

茨城県食と農を守るための条例の目的達成に向けた取組

議員 条例の制定による効果を県民に実感してもらえよう取り組んでほしいと考えるが、所見は。 知事 条例の基本理念である食料の将来にわたる安定的な供給や農業・農村の持続的な発展を目指し、有機農業の推進や農地の集積・集約、荒廃農地の再生、多様な担い手の確保・育成、海外市場の開拓や輸出拡大などに関係団体と連携し取り組むとともに、PDCAに基づき不測の検証を行いながら、県としての責務を果たしていく。

教育現場におけるデジタル化の推進

議員 教員の負担を減らすためのデジタル化をどう推進するのか。 教育長 今年度、市町村教育委員会や県立学校とクラウド型の校務支援システムの導入や、市町村との共同利用の可能性などの検討を始めた。教員が児童・生徒と向き合う時間を確保するため、業務効率化に積極的に取り組む。(ほかに、農業者が将来に希望を持つことのできる農業生産資材価格高騰対策、涸沼水鳥・湿地センター及び周辺地域の魅力発信と利活用なども質問)



茨城の誇る農産物



高橋 勝則 議員 いばらき自民党 古河市選出

いじめ防止対策

議員 全国のいじめ認知件数が増えている中、子どもを守るためには、社会総掛かりでいじめ問題に取り組むべきと考えるが、いじめ防止対策の現状と今後の方向性は。 教育長 児童生徒がいじめに向かわないよう、自他を尊重する態度を育成しているほか、学校生活アンケートや面談、家庭訪問、オンライン相談窓口の設置、警察などとの連携強化を行っている。引き続き、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に全力で取り組む。

建設業における働き方改革

議員 建設業にも時間外労働の罰則付き上限規制が適用されたが、働き方改革に対する県の支援は。 土木部長 適正な予定価格や工期の設定、週休二日制での施工義務付けなどによる就労環境改善や、ICT活用などによる生産性向上を図ることにより、支援していく。また、民間工事への働き掛け、市町村の取り組みへの支援、関係団体との意見交換などを行っていく。(ほかに、自殺対策の充実、シニアシップ教育の県立高校での取組なども質問)



休日 建設現場 ポスター



木村 喜一 議員 いばらき自民党 小美玉市選出

茨城空港の利用促進及び空港周辺の振興

議員 茨城空港のさらなる利便性向上や路線誘致などの利用促進、空港を核とした周辺整備やにぎわいづくりについて、どのように取り組んでいくのか。 知事 国内外の航空会社などに対し、茨城空港への乗り入れの提案をより積極的に行っていく。また、小美玉市が進めるホテル誘致についても、市とコミュニケーションを図りながら、周辺地域の振興に向けて連携・協力し、空港の発展に必要な取り組みを進めていく。



茨城空港におけるビジネスジェットの運航

農畜産業の経営継続のための危機管理とJ-クレジット制度※3の普及促進

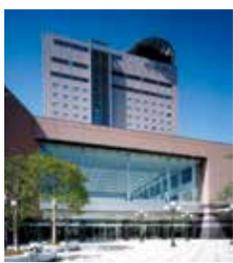
議員 国際情勢が不安定な中にも、農畜産業の経営を継続させていく施策や、農業者の収益となり得るJ-クレジット制度の推進を求めているが、所見は。 農林水産部長 飼料、肥料の国内自給化や、化学肥料に過度に依存しない栽培体系への転換を推進していく。J-クレジット制度については、農業者が取り組みやすい技術の拡充を国に要望していく。(ほかに、茨城空港テックパークの企業誘致、在宅医療のさらなる推進なども質問)



村田 康成 議員 いばらき自民党 神栖市選出

鹿島セントラルホテル等の地域資源を生かした鹿行地域の振興策

議員 同ホテルについては、昨年6月に突然、県から民間への譲渡方針が報道された後、議会や地域住民、ホテル関係者との議論を重ね、民間譲渡の結論に至った。これを教訓とし、引き続き同ホテルに関わり、地域振興策を講じてほしいが、どう関与していくのか。 政策企画部長 譲渡の優先交渉権者は、地域に根差したホテルを目指す方針である。神栖市など同社の取り組みを支援し、地域にぎわいの拠点となるよう注力する。



鹿島開発のシンボルホテル 鹿島セントラルホテル

(仮称)神栖特別支援学校の新設に至る経緯等及び新設後の特別支援教育体制の整備

議員 市民1万人の要望を受け止めた新設の英断に感謝する。入学する子どもたちのため、特別支援教育体制をどう整備していくのか。 教育長 神栖市須田地内への新設により、通学時間が最長約40分半減する見込みで、令和9年4月開校に向け、来年度から着工予定である。児童生徒の教育的ニーズに寄り添って支援し、医療、福祉労働などの関係機関と連携の上、自立と社会参加に向けて取り組む。(ほかに、鹿行保健医療圏の医師・看護師の偏在の解消策なども質問)